



証券コード：9913

日邦産業株式会社

証券コード：9913

2026年3月期 決算説明資料

2026年 5月18日
代表取締役社長
岩佐 恭知

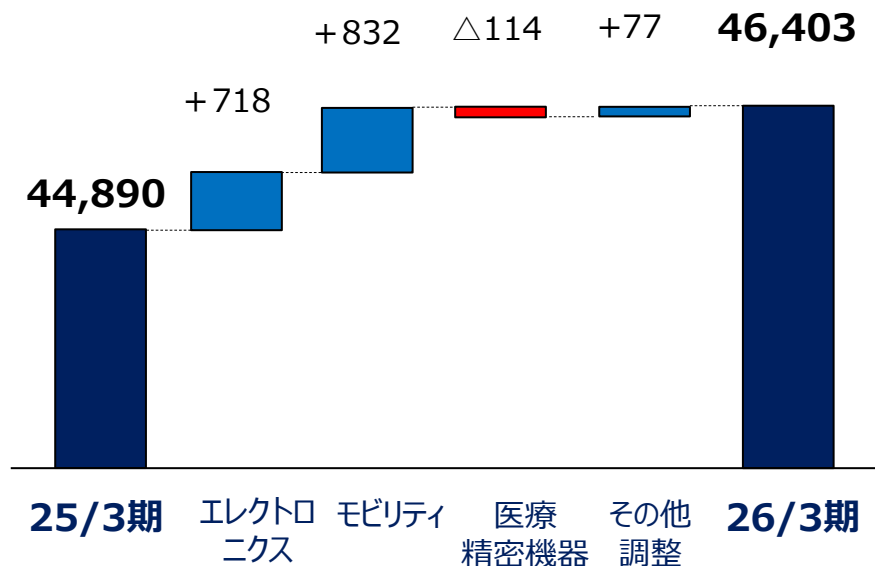
2026年/3月期 連結業績（1）



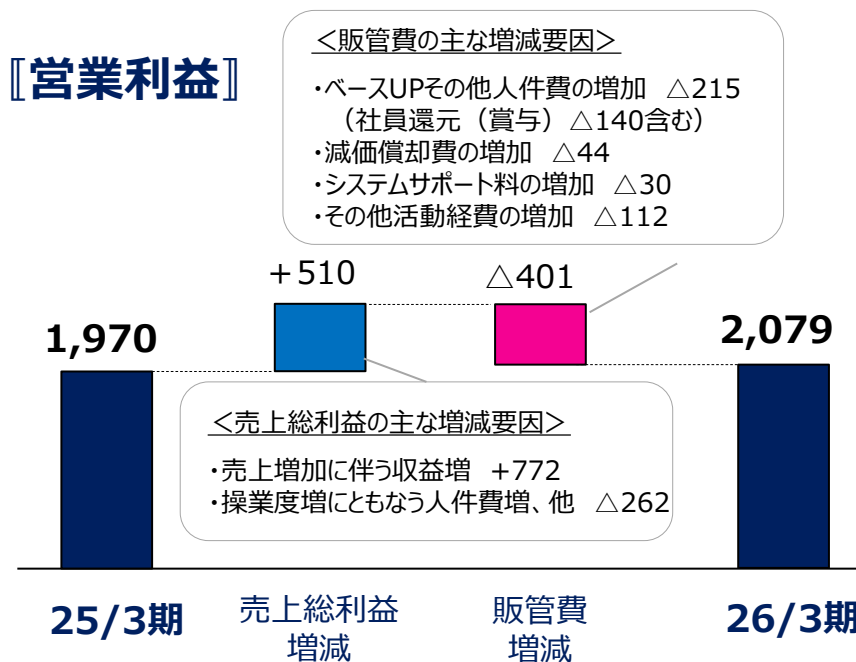
（単位：百万円）

科目	25/3期 実績	26/3期 計画	26/3期 実績	前年比	前年増減
売上高	44,890	45,500	46,403	103%	+1,513
営業利益	1,970	2,000	2,079	106%	+109
経常利益	2,105	1,950	2,269	108%	+164
当期純利益	1,396	1,400	1,441	103%	+45

『売上高』



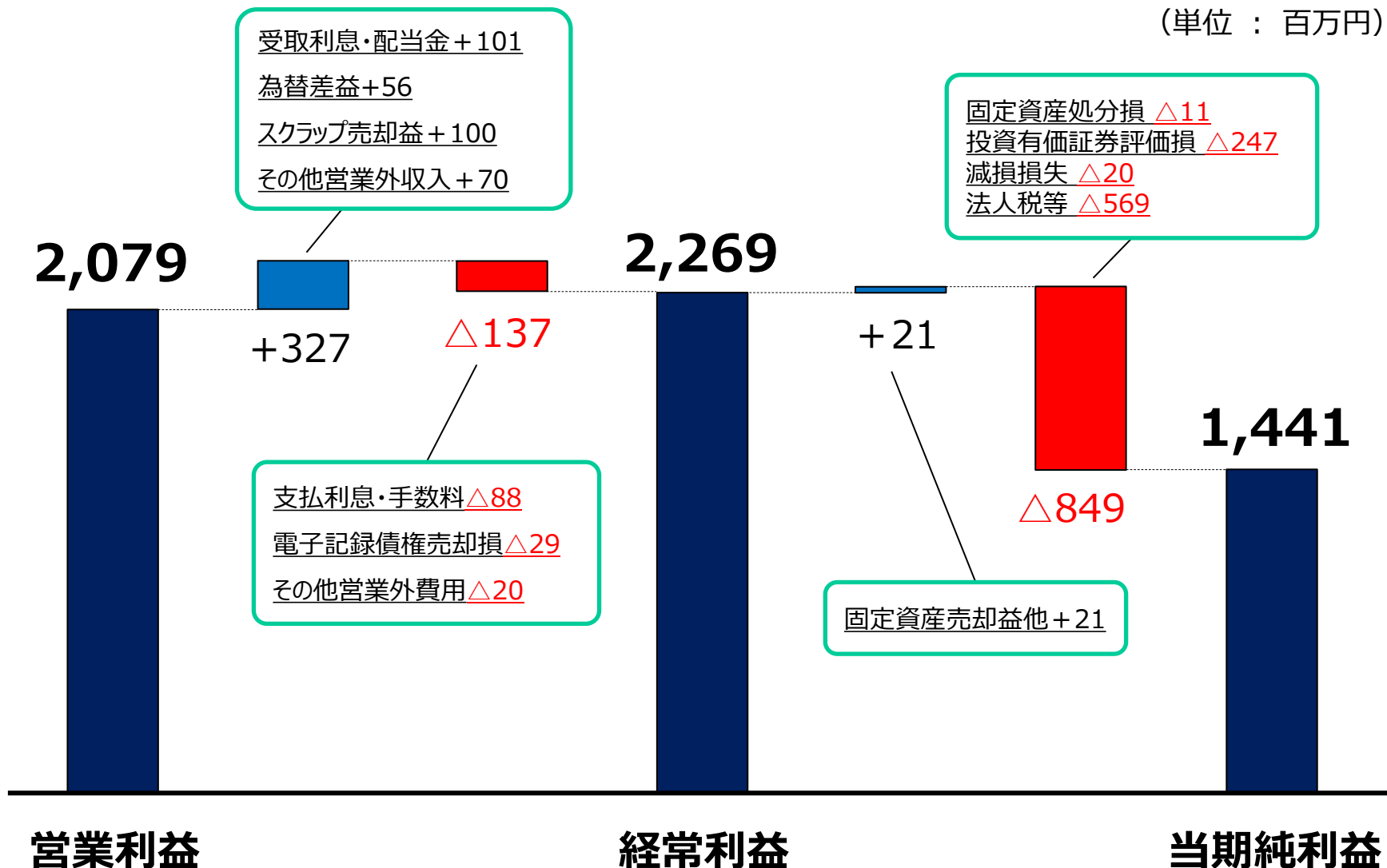
『営業利益』



2026年/3月期 連結業績（2）



（単位：百万円）



2027年/3月期 連結業績の見通し



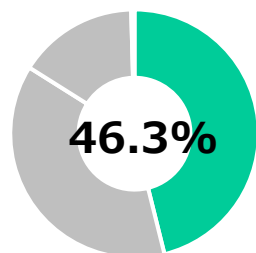
(単位：百万円)

科目	26/3期 実績	27/3期 見通し	前年比	補足コメント
売上高	46,403	47,300	101%	<p>1. 連結通期業績の見通し</p> <p>27/3期は、これまで取り組んできた種まき活動によるプラスの効果を見込むものの、不安定な状況下にあるイラン情勢により、原材料の供給や調達部材の価格高騰等のマイナス影響が読み切れないことを踏まえ、ほぼ前年並みの売上高及び営業利益を見込んでおります。</p> <p>加えて、「長期経営目標2031」で掲げた、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メーカー事業の売上高構成比を現行の1/2から2/3へ拡大していくこと ・ 新事業セグメントとして「Ecoプロダクト」を事業の柱に成長させていくこと <p>これらの取組みにより、27/3期は、当社の企業価値を一段高める「バリューアップ」を実現していく初年度と位置づけて、積極的な成長投資の実行を含めて取り組んでまいります。現在、外部環境の変化を見極めながら、「中期経営計画2028」の策定を進めておりますので、整い次第、お知らせさせていただきます。</p> <p>2. 配当金</p> <p>26/3期の年間配当金は、5月18日にお知らせした「配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」の通り、普通配当「78円」に「中期経営計画2025」のキャピタルアロケーションにお示しました方針に基づき、特別配当として「76円」を加えた「154円」とさせていただきます。</p> <p>27/3期の年間配当金につきましては、連結業績予想がほぼ前年並みとなることを見込んでおりますが、株主還元の基本方針として掲げる「配当総額、配当性向ともに持続的に向上させていくこと」に沿って、1円増額の「79円」といたしました。</p> <p>※なお、上記連結業績予想の計算に用いた為替換算レート（期中平均レート）は、1米ドル＝150円、1タイバツ＝4.5円であり、本予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて計算しており、実際の業績は、今後様々な要因によって本予想値と異なる結果となる可能性があります。連結業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。</p>
営業利益	2,079	2,050	97%	
経常利益	2,269	2,000	88%	
当期純利益	1,441	1,410	98%	
年間配当金	1株当たり 78円 + 76円(特別配当) 154円 (予定)	1株当たり 79円	+1円	

セグメント別業績（エレクトロニクス）



<売上高構成比>



増収

増益

26/3期の業績概況

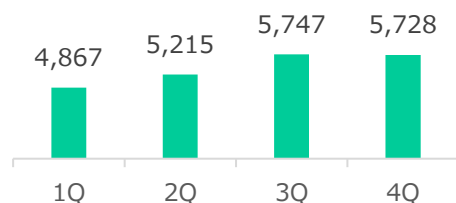
（単位：百万円）

	25/3期 累計	26/3期 累計	前年比	増減額
売上高	20,838	21,556	103%	+718
営業利益	1,532	1,775	116%	+243

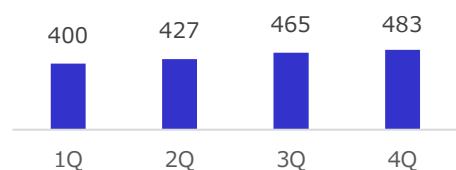
- スマートフォン関連部材の受注が低調に推移したことに加え、タイ（コラート）工場のドライフィルム事業の受注が採算ラインに届かない中で推移した。
- 一方、生成AI関連の半導体需要の下支えにより、製造プロセスで使用する機能性材料や精密加工部材の受注が堅調に推移したことに加え、経費削減効果により、増収増益。

<26/3期 業績推移>

【売上高】



【営業利益】



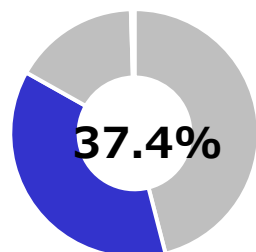
27/3期の業績見通し

	26/3期	27/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	21,556	22,800	106%	+1,244
営業利益	1,775	1,880	106%	+105

- 引き続き、生成AI関連の半導体需要の下支えが継続することが見込まれること、タイ（コラート）工場のドライフィルム事業の受注が採算ラインを超えてくることが見込まれることから、増収増益の見通し。

セグメント別業績（モビリティ）

<売上高構成比>



増収

増益

26/3期の業績概況

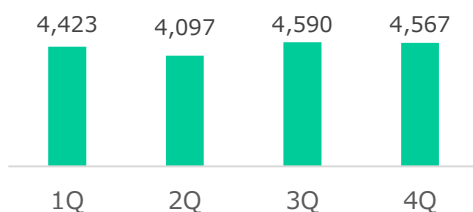
（単位：百万円）

	25/3期 累計	26/3期 累計	前年比	増減額
売上高	16,844	17,676	105%	+832
営業利益	1,160	1,162	100%	+2

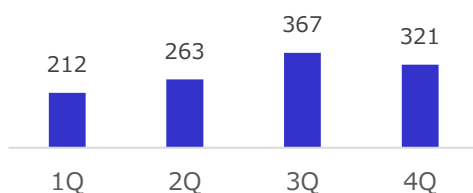
- アセアンにおける景気の持ち直しにより受注の回復が進んだことと、量産が軌道に乗ったベトナム工場のブレーキ関連部品の受注が堅調に推移したことに加え、タイ（コラート工場）における原価低減活動が利益に寄与し、増収増益となった。
- 一方、稲沢工場の新規量産品にかかる歩留まりを当初の予定通り良化させることができず、収益性の確保に課題を残す中で推移した。

<26/3期 業績推移>

【売上高】



【営業利益】



27/3期の業績見通し

	26/3期	27/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	17,676	17,000	96%	△676
営業利益	1,162	1,110	96%	△52

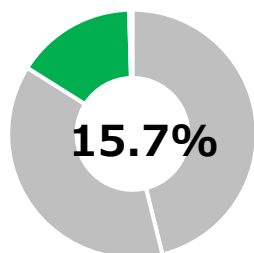
- EV化進展の鈍化により内燃機関部品の受注は改善する見通しだが、イラン情勢の影響により、世界的な自動車生産台数の下振れが予測されることから、減収減益の見通し。

セグメント別業績（医療・精密機器）



（単位：百万円）

<売上高構成比>

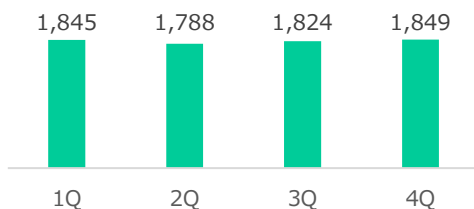


減収

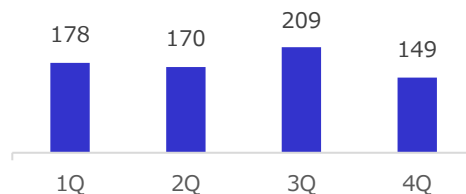
増益

<26/3期 業績推移>

【売上高】



【営業利益】



26/3期の業績概況

	25/3期 累計	26/3期 累計	前年比	増減額
売上高	7,419	7,305	98%	△114
営業利益	396	706	178%	+310

- タイ（コラート）工場における医療機器部品の受注は、堅調に推移した。
- また、プリンター関連部品は、ベトナム工場、フィリピン工場の受注が堅調に推移したが、タイ（コラート）工場は、顧客の生産地変更の影響を受け、受注が減少する中で推移した。
- アセアン各工場で継続してきた原価低減活動の効果が大きく寄与したことにより、大きく増益となった。

27/3期の業績見通し

	26/3期	27/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	7,305	7,500	103%	+195
営業利益	706	700	99%	△6

- 医療機器部品の受注と、ベトナム工場のプリンター関連部品の受注は、引き続き堅調に推移する見込み。
- タイ（コラート）工場、フィリピン工場のプリンター関連部品の受注が減少することが見込まれるが、各工場で行ってきた原価低減活動の効果が継続することを踏まえ、ほぼ前年並みとなる見通し。

【参考資料】 26/3期 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目		25/3期	26/3期	増減額	科目		25/3期	26/3期	増減額				
資産の部	流動資産	18,759	22,357	+3,598	負債の部	流動負債	12,220	14,881	+2,661				
	現預金	6,226	6,724	+498		支払手形及び買掛金等	7,978	7,859	△119				
										短期借入金等	1,654	4,063	+2,409
										リース債務、割賦未払金	314	277	△37
										その他	2,272	2,680	+408
	固定負債	3,724	3,644	△80									
	長期借入金	747	483	△264									
						リース債務、長期割賦未払金	498	636	+138				
						その他	2,478	2,524	+46				
	負債合計	15,945	18,525	+2,580									
純資産の部	資本金	3,137	3,137	—									
	資本剰余金、利益剰余金及び自己株式	9,417	10,196	+779									
	その他の包括利益累計額	3,973	4,656	+683									
	非支配株主持分	1	1	+0									
	純資産合計	16,530	17,992	+1,462									
負債・純資産合計		32,475	36,518	+4,043									
資産合計		32,475	36,518	+4,043									

【参考】「中期経営計画2025」セグメント別実績



(単位：億円)

		中計2022	中計2025					
		3カ年累計	FY2023	FY2024	FY2025	3カ年累計		
		実績	実績	実績	実績	計画	実績	(計画比)
エレクトロニクス	売上高	517	189	208	216	525	613	117%
	営業利益	35.9	12.7	15.3	17.8	38.0	45.8	120%
モビリティ	売上高	444	166	168	177	478	511	107%
	営業利益	30.5	15.4	11.6	11.6	45.1	38.6	86%
医療・精密機器	売上高	187	66	74	73	216	213	99%
	営業利益	0.6	1.6	4.0	7.1	4.5	12.7	281%
その他 本社費、調整	売上高	△ 4.4	△ 1.6	△ 2.1	△ 1.4	△ 9.0	△ 5.1	56%
	営業利益	△ 28.2	△ 10.5	△ 11.7	△ 15.6	△ 30.3	△ 37.9	125%
連結合計	売上高	1,144	419	449	464	1,210	1,332	110%
	営業利益	38.8	19.2	19.7	20.8	57.3	59.7	104%
ROE(%)		7.3	10.7	8.9	8.3	10.0	9.3	93%

日邦産業株式会社
経営企画部 水口、藤浪、小清水

電話 : 052-212-8726

HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、当連結会計年度末時点での目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル = 150円、1タイバーツ = 4.5円で計算しております。